

ダイジェスト版

第6次

弟子屈町 総合計画

令和4年度～令和11年度

「水」と「森」を守り、「人」が共に輝く、
誇りと活力あふれる 夢づくりのまち 弟子屈



令和4年3月
北海道 弟子屈町
HOKKAIDO TESHIKAGA

ごあいさつ

『「水」と「森」を守り、「人」が共に輝く、
誇りと活力あふれる 夢づくりのまち 弟子屈』を目指して

弟子屈町の今後8年間の指標となる、第6次弟子屈町総合計画が令和4年度からスタートします。

本計画の策定にあたっては新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中での策定となり、住民の皆様へ直接意見を聞くという機会をなかなか作ることができませんでした。そのような中であっても、限られた人数ではありましたが、まちづくり町民会議、策定審議会などにご出席をいただき、さらには、町民アンケート、中高生アンケートを通じ、多くの住民の皆様の参画を得ながら検討してきました。

第6次計画では、これまで推進してきた基本的な理念を継承しつつ、『「水」と「森」を守り、「人」が共に輝く、誇りと活力あふれる 夢づくりのまち 弟子屈』を将来像とし、次代の若い世代が、暮らしの中で、より「夢」や「希望」を持っていただけるようなまちづくりの取り組みを進めてまいります。そして、すべての住民の皆様へ、「豊かさ」や「幸せ」を感じることができる町を目指し、将来にわたり、持続可能なまちづくりを推進してまいります。

弟子屈町に住む我々が快適な生活を継続できるよう、地域や行政が一体となり一人ひとりが誇りと活力をもって住み続けられるよう、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和4年3月

弟子屈町長 徳永 哲雄



町民憲章

前文

わたしたちは、美しい摩周湖と、すばらしい大自然のなかに輝かしい未来をみつめる弟子屈の町民です。わたしたちは、祖先の築いた開拓の偉業をうけつぎ、責任と誇りをもって、明るく住みよい郷土を建設するために、この憲章を定めます。

本文

1. 元気で働き、産業を高め、豊かなまちをつくりましょう。
2. きまりを守り、明るく楽しいまちをつくりましょう。
3. すぐれた自然を大切に、美しい観光のまちをつくりましょう。
4. たがいになかよくたすけ合い、しあわせなまちをつくりましょう。
5. みんなで学び、文化の香り高い、平和なまちをつくりましょう。

各種宣言

「交通安全都市宣言」 昭和37年3月13日議決

「暴力追放の町宣言」 昭和61年3月19日議決

「防犯宣言の町」 昭和62年12月21日議決

「極左暴力集団排除に関する決議」 昭和62年12月21日議決

「核兵器廃絶・平和の町」宣言に関する決議 平成13年9月25日議決

「自然の番人宣言」 平成18年4月1日議決

「森林と共生するまち」宣言 平成20年3月7日議決

「てしかがゼロカーボンシティ宣言」 令和3年12月10日

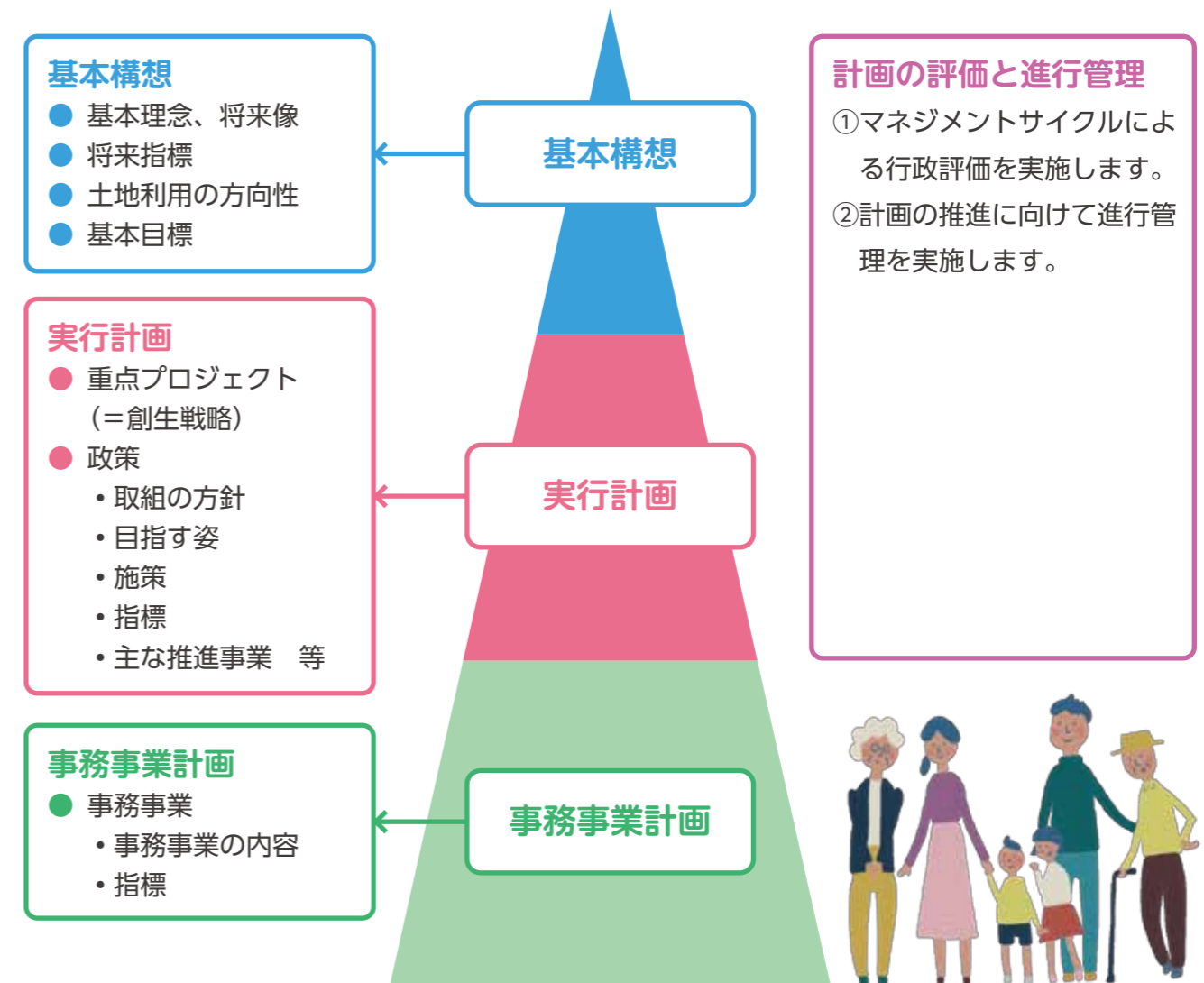
総合計画とは

総合計画の位置付け

- 「第6次弟子屈町総合計画」は、弟子屈町の総合的かつ計画的なまちづくり計画です。
- 8年間の長期的視点に立ち、弟子屈町の目指す「まちの将来像」としてのまちづくりの基本的方向や、行財政運営の指針などを示しています。

総合計画の期間と構成

- 第6次弟子屈町総合計画は、令和4（2022）年度から令和11（2029）年度の8か年計画です。
- 第6次弟子屈町総合計画の構成を3層構造とします。
- 第6次総合計画の重点プロジェクトとして、第2期てしかがまち・ひと・しごと創生戦略を位置付けています。



基本構想

基本姿勢

- より確実に持続可能なまちづくりを進めながら、自然と共に生き、住民の豊かさや幸せが高まる充実したまちを目指すために、臨機応変に対応する柔軟な姿勢でまちづくりに臨みます。

基本理念・将来像・まちづくりコンセプトとまちづくりの基本目標

基本理念

すべての住民が、暮らしに満足を感じ、
次代に夢を託せるまちづくり

将来像

「水」と「森」を守り、「人」が共に輝く、
誇りと活力あふれる 夢づくりのまち 弟子屈

まちづくりコンセプト

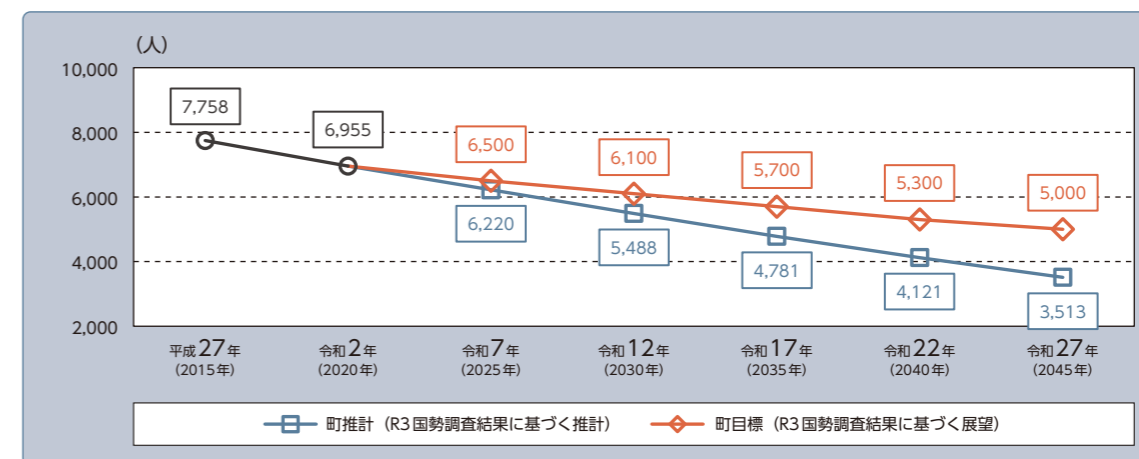
誇りと活力あふれる ^{まち}夢づくり

- 基本目標 1 **環** 人と自然が共生する 夢(まち)づくり
- 基本目標 2 **活** 活力・活気・雇用を生み出す 夢(まち)づくり
- 基本目標 3 **暮** 誰もが安心して暮らせる 夢(まち)づくり
- 基本目標 4 **育** 豊かな心を育て、文化を大切にする 夢(まち)づくり
- 基本目標 5 **人** 行動する人を育てる 夢(まち)づくり
- 基本目標 6 **公** 誰でも参加することができる 夢(まち)づくり

将来指標

- 転出者の抑制と転入者の増加、出生数の増加を図ることにより、目標年度（令和11年）における総人口を6,200人とします。
- 世帯当たりの人員数は今後も減少を続けるものとします。

	実績値		推計値	
	国勢調査 (平成27年)	基準値 (令和2年)	中間値 (令和7年)	目標値 (令和11年)
総人口	7,758人	6,955人	6,600人	6,200人
年少人口	807人 (10.4%)	613人 (8.8%)	530人 (8.0%)	500人 (8.1%)
生産年齢人口	4,113人 (53.0%)	3,450人 (49.6%)	3,270人 (49.6%)	3,100人 (50.0%)
老年人口	2,838人 (36.6%)	2,892人 (41.6%)	2,800人 (42.4%)	2,600人 (41.9%)
世帯数	3,509世帯	3,339世帯	3,200世帯	3,050世帯
世帯当たり人員数	2.21人/世帯	2.08人/世帯	2.06人/世帯	2.04人/世帯



土地利用の方針

- 本町の土地利用にあたっては、自然環境や景観を次代に継承することを第一に考え、土地利用方針は、本町の「自然」と「景観」を守ることを基本とします。
- 本町の具体的な土地利用は、「弟子屈町都市計画マスタープラン」、「弟子屈町土地利用計画」、「弟子屈町農業振興地域整備計画」等各種計画によって定められており、各計画の見直し時には、土地利用方針（「自然」と「景観」を守ること）を基本とします。



重点プロジェクト

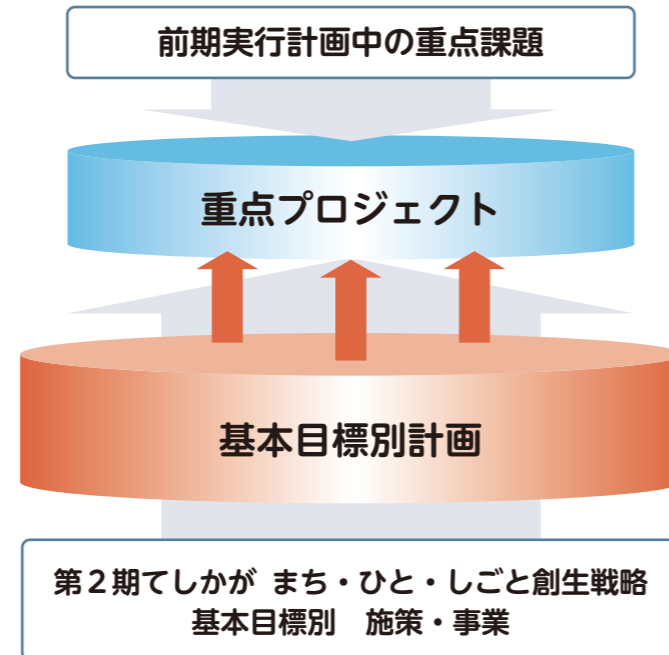
重点プロジェクトの目的

- 「第6次弟子屈町総合計画」推進の先導的な役割を果たすものとして設定します。

重点プロジェクトの位置付け

- 重点プロジェクトは、
「まちづくり」
「ひとづくり」
「しごとづくり」
「くらしづくり」
「行財政運営」

の5つのカテゴリーに分けた施策・事業群です。



1 「まちづくり」プロジェクト

- 「まちづくり」プロジェクトを構成する、

- ①-1 自然と共生した景感（景観）形成プロジェクト
- ①-2 川湯温泉街再生プロジェクト
- ①-3 中心街再構築プロジェクト

の推進により、「稼ぐ力の増強」を目指します。

K G I (重要目標達成指標)	基準値	目標値
観光入込数	88.8万人 (R元年度)	90.0万人 (R7年度)

2 「ひとづくり」プロジェクト

- 「ひとづくり」プロジェクトを構成する、

- ②-1 人財育成活用プロジェクト
- ②-2 アイヌ政策推進プロジェクト

の推進により、「多くの人を引き付ける魅力の向上」を目指します。

K G I (重要目標達成指標)	基準値	目標値
関係人口数	100.2万人 (R2年度)	156.6万人 (R7年度)

3 「しごとづくり」プロジェクト

- 「しごとづくり」プロジェクトを構成する、

- ③-1 地熱活用プロジェクト
- ③-2 地域特産品ブランド化プロジェクト

の推進により、「ブランドの再生・向上」を目指します。

K G I (重要目標達成指標)	基準値	目標値
関連ブランド販売額	1億円 (R2年度)	5億円 (R7年度)

4 「くらしづくり」プロジェクト

- 「くらしづくり」プロジェクトを構成する、

- ④-1 ICT・IoTを活用したスマートタウンプロジェクト
- ④-2 ウィズコロナ、アフターコロナプロジェクト

の推進により、「Society5.0*推進のまち」の実現を目指します。

K G I (重要目標達成指標)	基準値	目標値
ユーチューブ、ツイッター、ラインの登録者合計	4,755人 (R3年度)	10,000人 (R7年度)

5 「行財政運営」プロジェクト

- 「行財政運営」プロジェクトを構成する、

- ⑤-1 財政安定化とふるさと納税プロジェクト

の推進により、「財政健全化推進のまち」の実現を目指します。

K G I (重要目標達成指標)	基準値	目標値
財政調整基金残高	2.4億円 (R2年度)	10億円 (R7年度)

本町の重点課題

- 「まちづくり」の課題 ▶ 「自然と調和し地元産業が元気になるまちづくり」の推進
- 「ひとづくり」の課題 ▶ 「人が輝く人財育成」の推進
- 「しごとづくり」の課題 ▶ 「地域資源を活かした地域活性化」の推進
- 「くらしづくり」の課題 ▶ 「安心・安全・快適なくらし」の推進
- 「行財政運営」の課題 ▶ 「歳入の確保と適切な財政運営」の推進

前期実行計画

基本目標1 人と自然が共生する 夢(まち)づくり

環

- 地球環境の変動に対する本町としての取り組みの強化に向け、「環境保全の推進」によるまちづくりを進めます。
- 美しい自然環境の中で心豊かに生活を営み続けるために、本町の強靱化を進めるとともに、私たちの生活が安全であり続けられるよう、「生活環境の充実と向上」によるまちづくりを進めます。
- 生活の利便性を向上するとともに、自然を壊すことなく、「環境と共生する基盤の整備」によるまちづくりを進めます。

環-1 環境保全の推進

- ① 脱炭素社会の推進
- ② 循環型社会の推進
- ③ 環境保全の推進
- ④ 生物多様性保全の推進
- ⑤ 景観保全の推進と公園の充実

環-2 生活環境の充実と向上

- ① 防災対策と強靱化の推進
- ② 消防力の強化と救急体制の充実
- ③ 防犯対策と交通安全の推進
- ④ 安心できる消費生活の確保
- ⑤ 公衆衛生の強化と充実

環-3 環境と共生する基盤の整備

- ① 市街地整備の推進
- ② 道路の利便性の向上
- ③ 住宅環境の充実
- ④ 上水道と温泉の保全
- ⑤ 下水道整備の推進
- ⑥ 公共交通の維持



基本目標2 活力・活気・雇用を生み出す 夢(まち)づくり

活

- これまで本町経済の牽引役であった産業をさらに強化するため、「基幹産業のさらなる強化」によるまちづくりを進めます。
- 多くの人や労働者を引き付ける取組を進め、「雇用を支える産業力の向上」によるまちづくりを進めます。

活-1 基幹産業のさらなる強化

- ① 農業生産基盤の強化
- ② 農業経営力の強化
- ③ 森林の保全と適切な利活用の推進
- ④ 観光まちづくりの推進

活-2 雇用を支える産業力の向上

- ① 商工業の活性化の推進
- ② 水産資源の保全に向けた取組の推進
- ③ 人手不足の解消と企業・事業所の誘致

基本目標3 誰もが安心して暮らせる 夢(まち)づくり

暮

- 住民一人ひとりが自分の健康に関心を持って生活し、心身ともに健やかに暮らすことのできる地域社会を目指す「健康づくりの推進と医療の充実」によるまちづくりを進めます。
- 安心して自立した生活を送ることができるよう、また、安心して子どもを産み育てる環境づくりに向け「子育て・福祉環境の充実」によるまちづくりを進めます。

暮-1 健康づくりの推進と医療の充実

- ① 健康づくりの推進
- ② 安心できる医療環境の推進
- ③ 感染症対策の強化

暮-2 子育て・福祉環境の充実

- ① 豊かに暮らせる福祉の充実
- ② 子育て支援の充実
- ③ 子育て環境の充実
- ④ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
- ⑤ 社会参加を進める障がい者(児)福祉の充実
- ⑥ 介護支援の充実



基本目標4

豊かな心を育て、文化を大切にする 夢(まち)づくり **育**

- 時代環境に合わせ本町の教育をより良くするために、「学び環境の充実」によるまちづくりを進めます。
- 誰もが学習意欲を持ち、生涯にわたり豊かで充実した人生を送ることができるよう、「生涯学習の強化と文化の継承」によるまちづくりを進めます。

育-1 学び環境の充実

- ① 生きる力を育む学校教育の充実
- ② 学校教育環境の充実



育-2 生涯学習の推進と文化の継承

- ① 生涯学習のまちづくり
- ② 青少年の健全育成
- ③ 生涯スポーツの推進
- ④ 文化・芸術の継承
- ⑤ 文化財の適切な保全と活用

基本目標5

行動する人を育てる 夢(まち)づくり **人**

- 多様化する住民ニーズに官民が力を合わせて対応し、地域の課題を解決する「協働の推進」によるまちづくりを進めます。
- 本町の魅力を多くの人に伝え、地域全体の活性化へつながる「交流の推進」によるまちづくりを進めます。

人-1 協働の推進

- ① ネットワークづくりの推進
- ② 全ての住民が活躍できる社会の推進



人-2 交流の推進

- ① 互いに支え合うコミュニティの充実
- ② 地域間交流の推進と国際化対応
- ③ 人権と平和を守る取組の推進

基本目標6

誰でも参加することができる 夢(まち)づくり **公**

- さらなる行政の効率化と財政基盤の強化に努め、多様化する住民ニーズに応える「安定した行財政の運営」を強固にするまちづくりを進めます。
- 誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化社会の実現を図り、「住民と行政の新たな架け橋づくり」によるまちづくりを進めます。

公-1 安定した行財政の運営

- ① 信頼される行政組織づくり
- ② 健全な財政運営の推進
- ③ 自治体間連携の推進

公-2 住民と行政の新たな架け橋づくり

- ① 住民に役立つ広報・広聴の推進
- ② デジタル・ガバメントの推進



施策の大綱・体系に関連するSDGs項目 (Goal)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
基本目標1 人と自然が共生する 夢(まち)づくり	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環-1 環境保全の推進		●	●			●	●	●			●	●	●	●	●			
環-2 生活環境の充実と向上											●	●	●				●	
環-3 環境と共生する基盤の整備	●	●		●		●	●	●	●		●	●		●				
基本目標2 活力・活気・雇用を生み出す 夢(まち)づくり																		
活-1 基幹産業のさらなる強化	●	●		●				●	●		●	●	●			●	●	●
活-2 雇用を支える産業力の向上		●		●	●			●	●			●		●				
基本目標3 誰もが安心して暮らせる 夢(まち)づくり																		
暮-1 健康づくりの推進と医療の充実			●								●						●	
暮-2 子育て・福祉環境の充実	●		●	●							●	●					●	
基本目標4 豊かな心を育て、文化を大切にする 夢(まち)づくり																		
育-1 学び環境の充実		●		●							●							
育-2 生涯学習の推進と文化の継承			●	●							●							
基本目標5 行動する人を育てる 夢(まち)づくり																		
人-1 協働の推進				●	●				●			●					●	●
人-2 交流の推進				●				●			●						●	●
基本目標6 誰でも参加することができる 夢(まち)づくり																		
公-1 安定した行財政の運営			●	●				●	●	●	●						●	●
公-2 住民と行政の新たな架け橋づくり								●	●		●						●	

弟子屈町民の歌

池ヶ谷栄一
八州 秀章

作 詞
補 作
曲 詞

(一) カムイヌプリの 霧ははれて

霊峰高く 幸を呼び

原始の森は 深くして

神秘の湖は 碧く澄む

自然のめぐもり 湧くところ

我等が郷土 弟子屈町

(二) アトサヌプリは 生きている

明るい朝の 陽をうけて

白樺林 緑濃く

茂る這松 白つつじ

ゆたかな诗情の 湧くところ

我等が郷土 弟子屈町

(三) 水のしらべは ゆるやかに

静かにねむる クツシャロ湖

太古の歴史 悠々と

いで湯のめぐみ 満ち溢れ

希望と幸せ 湧くところ

我等が郷土 弟子屈町

町名の由来

町名弟子屈（てしかが）の「テシカ」とはアイヌ語で「岩磐」、「ガ」は「上」という意味です。アイヌの人達は「せっかくたくさんいる魚をとる仕掛けもできない岩磐の上だ」と嘆きました。弟子屈の語源はこれから生まれました。

町章



円内上部の三つの山形は摩周岳を表し、その下の「T」と合わせて弟子屈の「テ」を型どり「テ」の両端のトガリは限りない飛躍を意味しています。中の円は摩周湖を表し、外円と同心円でないのは全体の調和を表現しています。



摩周湖と いで湯のロマン 弟子屈町

【町の木】 ツツジ



【町の花】 サクラ



【町の鳥】 白鳥



第6次弟子屈町総合計画

ダイジェスト版 令和4年度～令和11年度

「水」と「森」を守り、「人」が共に輝く、
誇りと活力あふれる 夢づくりのまち 弟子屈

令和4年3月

発行：北海道 弟子屈町

編集：弟子屈町まちづくり政策課

〒088-3292 川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号

TEL：015-482-2191 FAX：015-482-2696